

令和 8 年度 海洋博覧会地区内施設指定管理者制度運用委員会における
モニタリングの検証結果について（令和 7 年度実績分）

1 施設名：沖縄県国営沖縄記念公園内施設（海洋博覧会地区内施設）

2 開催日時：令和 8 年 8 月 6 日（木）10:00～12:00

3 開催場所：沖縄県庁 11 階 第一会議室

4 出席者：委員 6 人中 6 人出席

（会長）荒井 一利

（委員）竹村 明洋

（委員）今井 秀行

（委員）羽渕 秀樹

（委員）上地 公代

（委員）小島 博子

（事務局）土木建築部都市公園課

（指定管理者）一般財団法人沖縄美ら島財団

（業務受託者）株式会社国建

5 検証事項

- (1) 令和 7 年度指定管理者モニタリング実施結果の検証について
- (2) 歩合納付金の計上年度の変更について

6 検証内容

- (1) モニタリングは適正に行われているか
- (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
- (3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか

7 検証方法

- (1) 事務局によるモニタリングの実施結果の報告
- (2) 委員からの質疑・意見

8 検証結果

施設の管理運営は概ね適切になされている。

なお、次のとおり意見が付されているので留意すること。

- (1) 入館者に関するより詳しいデータ（インバウンド、年齢別、時間帯別など）を取得し、提示すること。
- (2) 美ら海水族館は県の観光事業を推進するうえで非常に重要なポジションにあるため、地域への波及に関する解析を加え、指定管理者の評価の一助とすること。
- (3) 財務関係について、会計処理の適切さ（歩合納付金の計上年度の変更を含む）を、さらに検討すること。
- (4) 財務状況の目標値が保守的であるため、その点についてもさらに検討すること。
- (5) 観光部門の視点も重要であるため、本委員会には文化観光スポーツ部も同席いただきたい。

9 主な質疑・意見

(1) 入館者データの取得と人流解析

(委員) : 入館者数に占めるインバウンドの割合や、国別のデータを視覚化して提示してほしい。

(事務局、指定管理者) : 窓口での国籍把握は難しい。実数の把握はできないが、人流解析ツールを本格導入し、次回以降に国別や時間帯別の傾向を示すデータを提示したい。また、独自のアンケートを活用した年代別・居住地別の資料も作成する。

(2) キャパシティの課題と地域への波及効果

(委員) : 入域観光客数に対する入館者の割合が減少傾向にあるが、要因と対策はどのように分析しているか。

(指定管理者) : 駐車場の慢性的な満車など、キャパシティの限界が主な要因である。対策として、他施設とのセット券販売や時間帯をずらしたチケット販売等に取り組んでいる。

(委員) : 水族館単体の評価にとどまらず、人流解析を用いて北部地域全体への周遊や波及効果を立体的に評価すべきである。また、観光拠点としての重要性から、本委員会への県の文化観光スポーツ部の同席を要望する。

(3) 顧客満足度とリピーター動向

(委員) : サービスの質評価において、売店・レストラン部門の評価が低い要因は何か。

(事務局) : 飲食場所の不足が要因と分析しており、キッチンカーの配置等で対応している。

(委員) : リピーターの割合はどの程度含まれているか。

(事務局) : アンケート結果からは 2 回目以上の来館者が多く含まれていることを把握している。

(4) 財務状況の目標設定と会計処理の適正化

(委員) : 歩合納付金の計上年度を発生年度に変更する点は妥当だが、専門家を交えて他に見直すべき会計処理がないか洗い出すべきである。また、財務の目標値が保守的であるため、適切に機能する数値設定に見直すべきである。

(事務局) : 会計処理については専門家と連携し適切に対応する。目標値の設定についても、保守的すぎないか県として精査・確認していく。

(5) 飼育動物の状況

(委員) : イルカの死亡による展示への影響はないか。

(事務局) : 現時点でイルカショーへの支障はないが、県として繁殖専用施設の整備等を検討している。

10 会議の公開状況：公開